

「三郡山(大原越え)」

(4) 大原



②大原神社。道中に複数ある「大ばら」の道標の目的地である。

②大原から中津戸と蛇ヶ谷との分岐。左の蛇ヶ谷に行くと和木や上原を通じて、山家・上林に至ることを示している。

【参考1】和木の大原峠



④和木町の南端にある道標。
「右 大原 京道」



⑤和木の大原峠道。和木の行者堂および大原峠へ通じる道はよく掘れた尾根道であり状態もよい。



⑥和木の大原峠道。峠道の途中に和木の行者堂がある。北方の展望が大きく開けている。



⑦大原峠の鞍部。



⑧蛇ヶ谷側は谷道である。上部は広い道だが下部の一部分では道がわかりにくくなる。通行は可能である。



⑨谷道を蛇ヶ谷側へ下りた所に廃屋がある。

【参考2】大成



⑩石垣が村の痕跡を残している。
(2010年11月撮影)



⑪大成には複数の土蔵が残っている。
(2010年11月撮影)



⑫大成の観音堂。
(2010年11月撮影)



⑬大成から蛇ヶ谷に越える峠の直下に、道標「右 大ばら 左 やま 道」がある。
(2010年11月撮影)

【古道をめぐる思い出の情報交換】

日時：平成24年3月16日(金) 19時30分～21時 於：山家公民館(綾部市鷹栖町)

- ・上原から長者ヶ成へはよく行った。丹後には山深いところに村がある地域も多いが、山家近辺でもあったとは驚きである。
- ・鷹栖町所有山林が関西電力の鉄塔周辺にあり植林に行った。道標もたくさんあり歴史を感じる。
- ・見晴らしも良くハイキングコースとして利用したり、大原や和知との交流に活用できればうれしい。
- ・父は40年ほど前、大原に住んでいた。子供の頃、暗い中を大原から立木まで懐中電灯の明かりで越えた記憶があるとのこと。父は、長者ヶ成では4月1日(節分とも)に井戸でウグイスが鳴くとの伝えを聞きいており、井戸を探したが見つけれなかったと言っていた。
- ・和知町誌に長者ヶ成の件が記載されている。
- ・大成は昭和41年に台風被害のため離村された。(旧和知町からの参加者)
- ・山家の医者が大原まで診察によく行かれたとのことだ。ある時、朝まで帰らないので事情を聞くと狐にだまされ道に迷ったとのことだったそうだ。
- ・山家小学校(6年生)の遠足は、和木町の大原峠を越えて大原神社まで行った。和木町から大原神社までは約1時間を要する。
- ・和木町の行者堂から上原の行者堂まで行かれた方もいる。山家の自然歩道網として計画できたらよいと思う。